

## 下谷原自治会地区の浸水対策に関する意見交換会備忘録

2020年11月22日(日)

出席者：春日部市：石川市長、水沼市会議員、マキノ氏（建設部道路建設課）（進行役）、タマムラ氏（建設部河川課長）、カネコ氏（河川主幹）、オグラ氏（河川維持担当）、

下谷原自治会：別紙出欠表を参照

日時：2020年11月22日 9時～11時

場所：大沼記念館

### 配布資料

- 下谷原自治会エリアの浸水対策に関する意見交換会
- 新方川、会之堀川流域における浸水被害軽減プラン
- 春日部市100mm安心プランの概要

### 小川会長挨拶

自治会から要望書を提出し、その返答をいただく会ということでお願いをした。質問の趣旨は下谷原地区を取り巻く環境は中之堀の外側には学校や幼稚園、保育園、温泉がある。加えて、高齢者の介護施設があり5000名近くの方がここで生活している。考慮すべきは地震と水害である。地震は周りに避難所もあり連携をとっている。水害は心配である。したがって、縦横の道路2車線を早々に整備してほしいというお願いをした。また河川課には側溝が行き詰って水が溜まっているので流れるようにしてほしい。それに加え周辺に倉庫が立ち、田んぼがなくなり、水がこちらに来る環境になっている。さらにさいたま市には工業団地ができるという話も聞いた。ますます、水がこちらに来る環境になっている。したがって、冠水しないように道路を20から30cmくらい高くしてほしい。

### 石川市長挨拶

昨日、水沼議員からこの会の案内があった。急遽、お邪魔をすることになった。詳細は担当者が説明するが、平成27年に新方川を基幹の川とする「100mm安心プラン」国の指導による県の事業を進めている。下流側から整備を進めている。東武鉄道の部分が若干遅れており、急ぐよう要請した。安之堀川の合流部分がボトルネックになっており水がはけ切らない状況を今交渉中である。ほかには貯留水とか護岸を上げる事業を展開しており、若干時間をいただきたい。これらを活用することにより、治水が相当よくなることが期待できる。外郭放水路と相まって対応したい。今日は忌憚のない意見を伺って行政に反映してゆきたい。

### 水沼市会議員挨拶

先の9月定例会で「100mm安心プラン」の5年目の折り返し地点を迎え、今までの5年間の成果、今後5年間の対策を共有する必要があると思い、まとめて30分の質問を行った。今日は一緒に対策を考えたい。

## 説明

### ① 100 ミリ安心プランの概要と計画の進捗状況

従来の市が想定した以上のゲリラ豪雨への取り組みを示す。

流域の概要は配布資料「流域の概要」を参照。温暖化の影響、貯水能力の低下などで浸水が増えてきている。

平成 20 年の降雨 89 mm/h と同規模の降雨が来ても床上浸水を生じさせないため 8 件の事業を行っている。(県事業)

春日部市の事業：ポンプ場整備（従来の排水量の 4 倍の能力）

安之堀川の改修：昨年度から着手。

大沼の雨水管渠整備（約 450m）

雨水貯留施設整備（1700m<sup>3</sup>）

会之堀川の改修と地下貯留施設設備は平成 27 年に完成

**質問：**時間 89 mm の降雨があればすべて流し切るということか？

**答え：**すべて流し切ることではない。床上浸水を防ぐことができる。

**質問：**雨量が 89 mm に対し流し切らないということは、線状降水帯などのように雨が降り続いた場合はどう考えているのか？

**答え：**100 mm 安心プランでは実績降雨で考えている。従前よりは安心できると考えている。

**質問：**安全率はどの程度考えているのか。

**答え：**実績の雨量では時間 50 mm くらいであるのでこれが基準になっている。

**質問：**ここに住む住民としては、時間 50 mm に対し 89 mm よりも安全率を多くとってほしかった。

**質問：**新方川と安之堀川の改修工事はいつごろの完成か？

**答え：**令和 4 年度の完成を見込んでいる。

### ② 大沼地区における雨水管渠について

基本計画は来年度から。大沼グラウンドの下に雨水管渠を整備し浸水被害を軽減したい。貯留施設ではない。

雨水を安之堀川経由で新方川に流す計画である。

**質問：**どのくらい効果があるのか？

**答え：**実績降雨で床上浸水を防げる効果を期待している。

**質問：**警察の裏に住んでいるが、雨が降ると毎回車を移動しているが、車を移動せずに住む住む程度になればいいと思う。

**質問：**春日部市の計画に大沼運動公園を防災基地化するとあるが、どういう考えか？現状この周りは被害を受けていて、家の前は湖と化している。待てというならいつまで待つのか？

**答え（市長）：**今計画は5年を過ぎた。あと5年までには終わらせなければならず、完成すれば効果は上がると確信している。

**答え（水沼）：**100mm安心プランはすでに安心ではないが、国からお金を出して春日部市が計画を立ててそれを10年以内に執行しなさいというのがその中身である。3本の川（安之堀川、旧新方堀（谷原落とし）、中之堀川）を整備することによって、10年を待たず効果を上げるよう提言している。

**質問：**中之堀川の改修は100mm安心プランに入っているのか？市としては計画を持っているのか？

**答え：**100mm安心プランには入っていない。市の単独事業で計画している。

### ③ 旧新方堀について

- 緑住宅のわきから改修工事を行っている。除草をして浚渫をした。施工延長40m×両側=80m。全部やるのに六、七年かかる。
- 用水と排水が交差しているところは浚渫を行った。
- 野田・岩槻線の改修に向け今年から基本設計を行っているが、埼玉県と協議をしている。

**質問：**浚渫や草刈りをしている業者が雑な仕事をしている。市は業者に指導してほしい。

**答え：**直ちに事実を確認して指導する。

### ④ 中之堀川について

- 29年度から少しずつ整備をしている。今年で4年目、3年で180mの整備をしている。
- 1級河川である新方川の改修状況を見て中之堀川の整備を進めたい。

**質問：**ヘドロがたまって水深が1mしかない。これは認識しているのか？

**答え：**認識はしている。市としては下流から改修して流れやすくする計画である。農業用水は土地改良区が管理している。これを農業用水以外に使用できるか協議が必要。

**質問：**ポンプを付けて新方川に流すことは可能か？中之堀川を流さないと浸水は解決されないと思う。埼玉県との協議は進んでいるのか？

**質問：**中之堀川の浚渫計画は現状ないということか？

**答え：**現状はないが、状況を見て随時検討したい。

### ⑤ 主要道路の整備について

道路のかさ上げについては要望を受けている。

まずは100 mm安心プランで水を引かせることの整備効果を見て道路整備を考えたい。

**質問：**温泉に行く道の道路はU字溝がないため道路が崩れてきている。検討してほしい。

**答え：**全面的に打ち換えは道路建設課の担当なので検討してゆきたい。

**質問：**我々が提唱してきている5000人が住んでいる道路は浸水を待たず考えてほしい。弱者が避難できない。最低限の道路の機能は維持してほしい。

**答え：**まずはエリアとして考えたい。100 mm安心プランを見て考えたい。

**質問：**浸水の改善がされるまではまだかかりそうだ。現在の状況は逃げたい人が逃げられない状況を考えて、道路の改善を考えてほしい。

**答え：**防災対策課との話で、春日部市初の避難勧告を出して、その一日前に自主避難所を開設した。今年度からは自主避難所の数を避難勧告のかなり前に開けるようにしたと聞いている。

**質問：**共栄高校と大增中の間の交差点をかさ上げしたら（平成21年）、少し雨が降ると大增中の正門から避難できない。交差点だけかさ上げをするということは何とかならないか。

**答え：**交差点をかさ上げしたのは交差点が水没してわからなくなることは危険であることから実施した。

**市長挨拶：**平成17年に市長就任した。ふたを開ければ金がない。公約はいろいろ挙げたが、金がなく何もできなかった。

春日部市の予算は750億。借金は144%あった。1100億くらいあった。金利は13.5%。

いま借金は8.5%。現在は状況がかなり良くなってきたのでいろいろな事業ができるようになってきた。国からの不足分の事業費は92億円になる。この100 mm安心プランもその中の一つである。ぜひこの効果に期待してほしい。

**水沼議員挨拶：**昨年の台風19号のように深夜に避難勧告が出た。もう少し安心感を持って受け止められるように何の優先順位を上げるかを考えて要望をあげていきたい。

以上